

令和4年度 第1回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会

議 事 録

日 時：令和4年6月17日（金） 午前10時30分～午前11時40分

会 場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館研修室

出席委員：児玉聡夫（宮の森明和会会長）、高橋大作（札幌彫刻美術館友の会会長）、國松明日香（彫刻家）、森田由香理（札幌市立大倉山小学校PTA）、木戸拓史（札幌市市民文化局文化部文化振興課長）、吉崎元章（本郷新記念札幌彫刻美術館館長）以上6名

欠席委員：渋谷一典（札幌市立三角山小学校校長）

所 管 課：菅原真二（札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係長）、平将志（同文化振興課振興係事務職員）

事 務 局：岩崎直人（本郷新記念札幌彫刻美術館業務係長）、三枝大悟（同業務係事務職員）

- 次 第：1 開会
2 議事
（1）令和3年度事業報告（総括）
（2）令和4年度事業計画
（3）その他
3 閉会

当日配付資料：

- ・『2021 事業年報』
- ・資料1 「令和3年度 札幌彫刻美術館 開館状況」（表：本館／裏：記念館）
- ・資料2 「令和2年度 札幌彫刻美術館 開館状況」（表：本館／裏：記念館）
- ・「本郷新記念札幌彫刻美術館 令和4年度展覧会スケジュール」
- ・令和4年度開催事業チラシ2種（「藤川叢三展」、「サンクスデー」）

議事内容：

- （1）令和3年度事業報告（総括）

事務局より配付資料に基づき、スライドを用いながら、令和3年度の入館者数と事業について、総括的に報告を行った。

- （2）令和4年度事業計画

事務局より配付資料に基づき、スライドを用いながら、令和4年度事業の計画について説明を行った。

(3) 意見交換

高橋委員：受付での氏名・連絡先の記入はいつまで続けるのか？

吉崎委員：道立館はこれをやめている。現在、濃厚接触者の追調をしていないことから実際に使用する場面がないというのが実情。現状は市の方針に従う。

國松委員：特に「彫刻の設計図」展などは、研究と発表が有機的に絡まり合っ
て、これまであまり見受けられなかった内容であった。また、「100の石膏像」
展も石膏原型像がきちんと保管されているこの美術館ならではの。小規模
館、個人美術館という個性を活かして多彩に事業展開されているのは凄いことと
思う。

森田委員：現在、学校での事業は学年毎など細分化が推奨されている。本来は学
年を横断するような活動が望ましいのだが。

児玉委員：地域の活動もここ2,3年縮小していた。今後は彫刻美術館と町内会が
交流しながら地域の活動として活性化されたなら、と思う。

高橋委員：ロシアのウクライナ侵攻を見るにつけ、本郷新が作品に込めた平和へ
の思い、奥深さを改めて認識させられる。戦争と平和について考える縁、契機に
なるような展覧会を企画して欲しい。

児玉委員：酷く積雪量の多い年であって、町内会としては大変苦労したが、市は
こうした公共施設を中心に除雪を入念に行なって欲しい。

國松委員：庭園部分は無料スペースであることを宣伝誘導し、建物に入らずとも
入館者数として数えられるようにしてもよいのでは。

(4) その他

①次回協議会は令和4年10月6日(木)午前10時30分～11時30分を予定。